

# 県内国際人のお仕事を覗いてみよう!

佐藤 道夫さん

通訳案内士  
岩手ひらいずみ通訳・ガイドの会

明るく笑顔が素敵な佐藤道夫さん。旅行のほか、趣味はテニス、水泳、野球。お客様と話があえばとことん語れます!



通訳案内士・佐藤道夫さん(岩手ひらいずみ通訳・ガイドの会)の1日に密着&「通訳案内士」のお仕事について聞きました。

この日のお仕事は、東北観光推進機構及び東北運輸局が主催する「新規開拓市場(東南アジア・旅行エージェンツ) 冬季招請事業」。ベトナム、マレーシア、インドネシア、シンガポール、フィリピンから訪れた旅行代理店の代表者たちに対し、北東北の旅館、ホテル、観光施設、各自治体観光関係者たちがそれぞれの「売り」をアピールする商談会及び意見交換会の英語⇄日本語の通訳です。



商談会は終始和やかなムードで進みました

始まる直前に佐藤さんのパートナーはシンガポールのFirst Choice Holiday統括マネージャー James Liauw (ジェームスリャオウ) さんに決まりました。2時間の商談会は、12分ずつ



報道機関に取材されたりも...

ほとんどPR団体が入れ替わり、熱のこもったプレゼンテーションをしていきます。佐藤さんは各団体の特徴や強みをジェームスさんに的確に伝え、交通手段や所要時間等ジェームスさんからの質問についてハキハキやりとりをこなしていきます。

## ■本日の感想はいかがですか。

事前に全体の概要をもらったので、各団体のホームページを見たり、いつもそれなりの下準備をしていくのですが、現場の展開は読めないところがあるから何回経験しても難しいところ。相手の立場になって情報交換していくことは、いつも意識しています。

## ■佐藤さんのパートナー、ジェームスさんにも感想を聞きました。

「佐藤さんは経験豊富で知りたい情報は全部聞けた。彼と組めて私はラッキーだ。北東北、特に岩手は魅力が詰まっている。旅行プランの候補として大いに検討したい」とコメントしてくださいました。

## ■「通訳案内士」としての経験年数や経歴は?

実はかなり最近です。岩手ひらいずみ通訳・ガイドの会で半年ほどのインターンを経て2015年4月から独り立ちしました。2015年の3月まではサラリーマンでメーカーの海外輸出関係の

仕事をしていました。2013年2月に国家試験に合格し、11月に県知事の登録を受け、定年を機に「通訳案内士」としての活動をスタートしたのです。

## ■このお仕事を選ばれたきっかけ、理由は?

もともと興味がありました。自分は「海外版寅さん」と称するほど海外出張が多く、海外旅行も好きで、現役時代に1日ずつヨーロッパの各国をまわったこともある。大型クルーズ船のガイド業務では、海外からのお客様の母国について自分がかつて訪れた際の「地元ネタ」を話すと盛り上がるんですよ。そんな発見や魅力を共有できるってのが面白いかな。

## ■普段は平泉を中心とした通訳ガイドとしてのお仕事のほうが多いと思います。ツアーの場合の1日のスケジュールを教えてください。

時間と予算、代理店からの要望によってもだいぶ変動して、うまく調整するのが我々の役目なので、なかなか一概には言えないのが正直なところです。2時間とか半日あれば中尊寺のみ、1日あれば猊鼻溪〜毛越寺〜中尊寺コースが一般的ですね。FIT(Free Independent Tour)といって、最近は少人数制で個別仕様のツアーが多くなってきています。全体の旅程のうち、岩手の部分を任せられ、執事のようにずっとお客様と行動を共にし、様々なご要望にお応えします。夕食もどこで何を食べたらいいか相談を受けるので同行します。ベジタリアンの対応もあります。「夜は卵丼を作ってほしいのですができますか?」と事前に調理場と交渉したり。あまりに急だとやはりできないこともあるんですけど、最善の努力は惜しみません。

## ■佐藤さんの岩手県お気に入りコースは?

やっぱり猊鼻溪〜毛越寺〜中尊寺、あとできれば、骨寺村荘園あたりも入れたい。奥州藤原氏の黄金と良馬とか荘園でつくったお米とか、全体のストーリーを伝えたいですね。岩手県の魅力は、自然が多いところ。貴重な文化財や物語がまだまだたくさんある。ゴールデンルート(東京、大阪、京都等)に飽きた方、再訪日客への魅力にもつながる。

## ■嬉しかったこと、印象に残っているエピソードを教えてください。

3〜4日、アメリカの大学から研究者が2名きて被災地を案内しました。寝るまでずっとつきっきりで同行しました。最後に「楽しかった、よかったよ」と言ってもらえて、下準備が報われたし、自信



アメリカの研究者に中尊寺金色堂を案内しているところ

にもつながりました。お昼を食べたラーメン屋のご主人が被災された方でご自分の体験を詳しく話してくれたんです。彼らは肉、魚がダメでベジタリアンメニューにも急きょ対応してもらって。この土地ならではのかけがえのない思い出ができたと思います。

### ■仕事の「相棒」(必需品)は？

「旗」ですね。実は横浜ベイスターズ応援グッズでもともと娘のものなんです。(佐藤さんは18歳から40歳まで横浜でお勤めされました。その後、宮城県古川へ異動された際には、地元である一関から通勤したそうです。) お客様から質問されるきっかけにもなってけっこう盛り上がるんですよ。

### ■仕事をするうえのこだわりや工夫は？

岩手ひらいずみ通訳・ガイドの会の会長である岩淵康民さんから、「通り一遍の話なんて聞きたくない。お客様の反応をみながら、求められている情報を、無駄なくお伝えするように」と教えられていて、この機会・状況ならではのガイドをするようにいつも心がけています。

### ■大変なところ、やりがいは？

さきのエピソードとも重なりますが、様々なリクエストに応えるために我々は奮闘します。博物館とかで本当は規則でだめなことを特別にやってみようとか。今しかここにいらっしやらないお客様のためにできる限りのおもてなしを尽くします。必ず下見も含めて事前調査は欠かしません。臨機応変に対応する力、細やかな配慮は大事です。

### ■県内若者へのメッセージ

興味・関心をもって自然、文化を学ぼう、理解しよう、発信しよう!言葉にはコンテンツがあります。自分の身の回りのもの、コトに気付く、伝える生活スタイルが大事ではないでしょうか。また、外からみれば日本の良さがわかります。外(ちがう視点)から自分のいる場所を見る感覚も養ってください。

### ■通訳案内士とは？

訪日外客数は、2013年が約1,040万人、2014年が約1,340万人、2015年が約1,974万人と、大幅な伸び率で増加しています。その数は今後もますます増え続けニーズも多様化してくるの見込まれます。

報酬を受けて通訳ガイドをするには、「通訳案内士」の国家資格を取得する必要があります。

通訳案内士試験は、毎年1回実施され、年齢、性別、学歴、国籍などに関係なく受験が可能です。通訳案内士は、単に語学力が高いだけでなく、日本に関する幅広い知識と教養に精通しなければなりません。筆記試験(8月)、口述試験(12月)の難関を突破し、2015年度の通訳案内士試験には、2,119人が合格し、2015年4月1日現在19,033人の“民間外交官”の登録者がいます。「通訳案内士」についての詳細は、日本政府観光局(Japan National Tourism Organization)のホームページ等をご覧ください。

佐藤さんは試験のための特別な勉強はせずとも日頃の努力や蓄積の賜物ゆえ見事「通訳案内士」となりました。英語は、NHK語学講座、米軍放送(立川、厚木)、語学好きが集まるサークル@渋谷などを通して、楽しみながら実力をつけたそうです。今でもその交流は続いていて、ニューヨーク在住の友達を訪ねることも。今年は30年ぶりにサークルの同窓会が開かれるそうです。サラリーマン時代は海外出張も多く、シリコンバレー、テキサス、なかでもデトロイトへの訪問が多かったそうです。海外現地法人の朝礼で200人の前で挨拶する機会もあったとか。当時のクライアントや海外現地法人の社員から学んだことを書きとめて復唱したり、実際に使ってみたり、間違いは絶対そのままにしない、長年のたゆまぬ研鑽が功を奏したのです。留学しなくても語学力は身につく!ということですね。

## いわて国際化人材活用ネットワーク 登録者を募集しています

<http://www.iwate-ia.or.jp/?l=jp&p=2-3-jinzai>

実は、この商談会では、当協会の「いわて国際化人材活用ネットワーク」登録者4名も活躍していました。地域の講座やイベント、通訳・翻訳の依頼があった場合に、対応できる方を紹介しています。(例)料理講座、海外ボランティア体験、留学体験、外国文化紹介、日本文化紹介、国際理解講座、通訳・翻訳。海外の文化に詳しい方、ご自身のスキルを活かしたい方、まずは登録してみませんか?随時募集していますので、申込は国際交流協会のホームページからどうぞ!

## ひらいずみ通訳・ガイドの会

<http://iwate-guide.sakura.ne.jp/ja/ja01.html>

佐藤さんの所属する「ひらいずみ通訳・ガイドの会」は、2011年6月世界遺産リストに登録された平泉を国際文化観光都市として世界的にアピールする目的のもと設立された任意団体です。有資格ガイドが粒揃いですので、深く印象に残るいわての旅プランニングは、お気軽にご相談ください。

# ことばマメ知識コーナー“ぺっこ”

## イースター

3月になるとイギリスの全国民はイースター(復活祭)の準備で忙しくなるでしょう。イースターはキリスト教の祭りで、イエス・キリストが十字架にかけられて死んだ3日後に復活したことを記念する祝いです。

イースターは日曜日に行われますが、その前の金曜日と次の月曜日も祝日なので四連休になっています。イースターは移動する祝日なので、その年によって日にちが変わります。たいていは3月下旬か4月上旬になりますが、「今年のイースターはいつだった?」という会話をよく聞きます。

イースターに行われる習慣の一つは、ペンキなどで色を塗った卵を飾ることです。それは、イエスが復活したように、卵が新しい生命の象徴になっているからです。最近では、飾られた卵だけではなく、チョコレートで作られた卵、いわゆるイースター・エッグもあります。ほとんどのイギリス人にとってイースターはキリストの記念ではなくてチョコレート祭りになっていると思います。「花より団子」でしょうか。

サンタさんがクリスマス・プレゼントを持ってきてくれるのと同じように、イースター・エッグを持ってきてくれるイースター・バニー(復活祭ウサギ)がいます。イギリス国民にとっても、ウサギと卵とイエスの復活との関係は謎です。

イースターの前の6週間はレント(四旬節)です。古くは、自分の罪を悔いるために食事を節制する時期でした。そのため、レントが始まる前に家にある食べ物を食べ尽くす必要がありました。主食の主な材料は小麦粉と牛乳と卵だったので、パンやパンケーキがよく作られたそうです。それが今に受け継がれ、イギリスでは現在も毎年「パンケーキ・デイ」という、パンケーキをたくさん食べる祭りでレントが始まります。

食事全てを節制する人はもういないと思いますが、何かを控える人は結構います。例えば甘いもの、お酒、テレビを見ることなど。新年の抱負みたいですね。

あなたも何かを控えるなら、何を控えますか?

Happy Easter!

文 ニコラス・オークデンさん(岩手県国際交流員)

素敵なプレゼントを  
差し上げます!

## アンケート&クイズ

今回のクイズは、現在JICA岩手デスクに在籍している久住元太さんからの出題です。

久住さんは青年海外協力隊員として2年間ソロモン諸島に派遣され、防災・災害対策活動に尽力しました。さて、ソロモン諸島で使われている日本語は?

- ① ショウトツ
- ② タイヨー
- ③ アジダイジョウブ

クイズの正解は、次号をお楽しみに!

前号のクイズのこたえ

オーストラリアのスラング「Sanga」が意味するのは、「2. サンドイッチ」でした。ユニークな表現をマスターしてオージー友達をたくさん作っちゃおう!

機関誌「2016いわて国際交流(Vol.79)」をお読みいただきありがとうございます。今後の企画・編集の貴重な資料にさせていただきますので、アンケートにご協力をお願いいたします。

アンケートとクイズに回答いただいた方の中から抽選で5名の方にインド製・パラフィンワックス(環境にも人体にも無害で安全な天然資源)を使用したエッグキャンドルをプレゼントします。シロクマ、三毛猫、黒猫のどれが届くかはお楽しみ!とじ込みのはがき、Eメール、ホームページからご回答ください。

※2016年5月30日当日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。



## 賛助会員を 募集しています

公益財団法人岩手県国際交流協会では、趣旨に賛同し、事業を支えてくださる賛助会員を募集しております。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

賛助会員は県内の国際交流・国際協力・多文化共生の公益目的事業に役立てられます。

年会費(1口)

- ① 個人会員 …… 3,000円
- ② 団体会員 …… 10,000円
- ③ 学生会員(生徒を含む) …… 1,000円

## 会員特典

いち早くお届けします!

- ・協会の発行物
- ・イベントなどの案内

機関誌  
「いわて国際交流」

情報紙  
「jien go」

お得なサービスが受けられます!

- ・当協会イベントなどの参加費を優待割引
- ・携店舗の各種サービスを利用可能

※サービス例:「旅行商品の合計代金より3%割引」など

提携レストラン・ショップ、旅行代理店の一覧マップを差し上げます!▶

税制上の優遇措置を受けられます!

賛助会費には、特定公益増進法人への寄附として、所得税・法人税の税制上の優遇措置があります。



当協会  
賛助会員  
限定

フェアトレードショップの特典をご紹介します!

# Organic, Ecology & Fair Trade おいものせなか +Cafe 花巻市

今回のショップレポートは、花巻市にある「Organic, Ecology & Fair Trade おいものせなか +Cafe」です。

お店に一步足を踏み入れたとたん、なにか新しい発見がありそうな予感! 一気に心を奪われてしまいました。途上国の生産者を支えるフェアトレードの服、雑貨、書籍、無添加・オーガニック食品、石けん、オーガニックコットンの靴下やインナーなど、手に取ってじっくり見たい・知りたい商品が所狭しと並べられています。奥にはゆったりとした心地いいカフェも併設され、時を忘れつついつい長居をしてしまいました。カフェでは通常営業のほか、随時、展示会やワークショップも行われています。

温かく迎え入れてくれたのは、代表の新田史実子さん。東北に限らず、全国的にもフェアトレードの活動を世に広めた先駆者です。そのパワフルさとはうらはらに、気取らず、優しく、しなやかな方でした。

「フェアトレード」と聞いたとき、みなさん何をイメージするでしょうか。確かに値段ははりますが、品質や味には納得、やみつき! です。また、消費の先に途上国で奮闘する生産者の笑顔が見えます。「消費は投票と同じ」新田さんは、音楽家の坂本龍一さんの言葉を引用してわかりやすく説明してくれました。買い物を通じた国際協力という「選択」もできるのです。

ちょっとしたこと、自分の好きなことに「フェアトレード」のエッセンスを入れてみませんか?もし、あなたがコーヒーが好きななら、ネパールのコーヒーがおすすめです。香り高くコク深く、とってもおいしいです。



センスを入れてみませんか?もし、あなたがコーヒーが好きななら、ネパールのコーヒーがおすすめです。香り高くコク深く、とってもおいしいです。

もうこれしか飲めないと行って継続的に購入されていく方も多いそうです。こだわりのコーヒーは、あなたの心と生活をもっと豊かにするはず。世界のお友達が、てまひまかけたこだわりの逸品、試してみませんか。価格以上の感動と感謝がうまれるでしょう。



## おいものせなかの賛助会員特典

フェアトレード商品を5,000円以上お買い上げの方に紅茶・ハーブティのドリンクサービス

## Organic, Ecology & Fair Trade おいものせなか +Cafe

住所: 〒025-0062 岩手県花巻市上小舟渡166-2

電話/FAX: 0198-22-7291

Shop: (月・水~土) 9:30~18:30 (日) 10:00~17:00

Cafe: (月・水~土) 10:00~18:00 (日) 10:00~17:00

定休日: 火曜日

ブログもありますので、ぜひ覗いて、雰囲気味わってみてください。  
<http://oimonosenaka.com/>

## 協会からのお知らせ

2016年8月、岩手県国際交流協会は、「さんさ踊り」パレードに参加する予定です。浴衣に加え、民族衣装を身にまとい、盛岡から世界友好を発信します! 詳細は、後日発表しますので、お楽しみに! 参加者、募集中!



2012年は13か国約50人の外国人の方々を含む約150人が参加しました



みなさんの頑張りのおかげで「パフォーマンス賞」を受賞しました!

## 「オーストラリアの結婚式」

Jennifer Wuさん  
from オーストラリア



岩手県と「ゆかり」のある海外在住の方から、  
現地の様子を伝えていただきます。



### 滞在国概要

**国名**：オーストラリア連邦 (Australia)  
**面積**：7,692,024km<sup>2</sup>(日本の約20倍、アラスカを除く米とほぼ同じ)  
**人口**：約2,391万人(2015年10月。豪州統計局)  
**民族**：アングロサクソン系等欧州系が中心。  
 その他に中東系、アジア系、先住民など。  
**言語**：英語  
 (出典：外務省ホームページ2015年11月)



### Jennifer Wuさん(ジェニファー・ウー)

台湾生まれ。9歳のときに家族とオーストラリアへ移住。2008年～2009年まで国際交流員(CIR:Coordinator for International Relations)として岩手県に配属。現在はブリスベン在住。帰国後3年間弁護士として活躍したのち、現在は高校教師として、法律学、日本語、北京語を教えている。

盛岡で1年半滞在した後、オーストラリアへ帰国して早6年が経ちました。帰国後は3年間弁護士として活動し、現在は高校教師として働いています。ワークライフバランスが保たれ、さらに充実した職業に就くことができ、この決断に満足しています。

帰国後の1番の変化は「結婚」です。夫のソンヨブ(Seong-Yop)との出会いは、盛岡で勤務中のことでした。ソンヨブは韓国出身で花巻にある富士大学を卒業しました。2015年11月28日にオーストラリアで結婚しました。結婚式のことは、今でもイキキと記憶が蘇ってきます。

結婚式のスタイルは各国で異なるものですが、ソンヨブは、オーストラリアと韓国との違いにしばしば驚いていました。彼を「ビックリ!!」させた出来事をいくつかみなさんにご紹介したいと思います。

### 1. ドレス選び

オーストラリアでは、また多くの西洋諸国もそうであると思いますが、花婿は、花嫁が挙式日にバージンロードを歩くまで、そのウエディング・ドレス姿を見ることができません。私は、花嫁介添人(私の場合は、2人の従妹と親友)にドレス選びを手伝ってもらいました。ソンヨブは、ビックリすると同時に、ちよっぴりガッカリしたようです。韓国では花嫁と花婿が一緒にドレスを選ぶのが一般的ですから。

### 2. 花嫁介添人と花婿介添人

多くの結婚するカップルは、挙式のプランニングと当日の進行を手伝う「花嫁介添人」(bridesmaids)と花婿介添人(groomsmen)を決めます。介添人たちには挙式以外にも重要なミッションがあります!それは、花嫁には「hen's night」、花婿には「buck's night」というイベントを開催してあげるのです。これは、花嫁及び花婿の独身最後の日々をお祝いするため、女だけあるいは男だけ、のパーティです。私の介添人たちは、リラックス・スバに連れて行ってくれ、そのあと、おいしいディナーが待っていました。クレイジーな企画ではなくよかったです。男だけの「buck's night」は、かなりきわどい内容で盛り上がることもあるようです。私は、ソンヨブにその夜は何をしたのか怖くて聞きたくもありませんでした!



### 3. サムシング・フォー(Something Four)

幸運を願って花嫁が結婚式に身につける4つのもの。私の場合はこうでした。

- ・「なにかひとつ古いもの (Something Old)」:生徒がくれたプレスレット
- ・「なにかひとつ新しいもの (Something New)」:ウエディング・ドレス
- ・「なにかひとつ借りたもの (Something Borrowed)」:ヘアピース
- ・「なにかひとつ青いもの (Something Blue)」:下着!

### 4. 写真撮影

韓国では、多くのカップルが結婚前にプロのカメラマンにスタジオで記念写真を撮影してもらいます。ソンヨブは、オーストラリアでは当日に写真撮影をすると聞いて驚いていました。私達が結婚式を挙げた会場は、クィーンズランドのロックヤー・ヴァレー(Lockyer Valley)にある美しい緑に囲まれた邸宅で、挙式後に撮影した写真はどれも素敵なものばかりです。



たくさんの喜びと笑いに満ちた、ロマンティックな1日でした。叶うなら、もう1度やりたいです。(もちろん、同じ男性と!)

- 開館日/毎日
- 開館時間/9:00~20:00
- 休館日/年末年始、アイーナ休館日(年2回)
- 交通のごあんない
  - ・盛岡駅から徒歩4分(東西自由通路経由)
  - ・東北自動車道 盛岡ICから車で8分

